

「行革甲子園 2018」エントリーシート

【取組の内容】

1 取組事例名

四條畷市インターネット情報番組「なわチャン！」の開始

2 取組期間

平成30年2月14日から

3 取組概要

シティプロモーションに関する取組みを連携、協力しながら推進することを趣旨に、平成30年2月16日（金）、FC大阪（一般社団法人FC大阪スポーツクラブ）と包括連携協定を締結。平成30年2月14日から、市民が本市を再発見し市外に伝えたいようなコンセプトで「なわチャン！」の生放送を開始。四條畷のチャンネル、なわての魅力をちゃんと発信するという目標からネーミングした（FC大阪が放送に至る技術協力）。番組では、情報バラエティとして視聴者に楽しんでもらう工夫もしながら、平成30年度予算記者会見を生放送し、視聴者からの質問にも答える企画や、インターン生の企画による「くじ引き郷土史カルタ巡り」等のVTRを製作、**視聴者参加型の地元に着目した情報**を定期的に放送している。

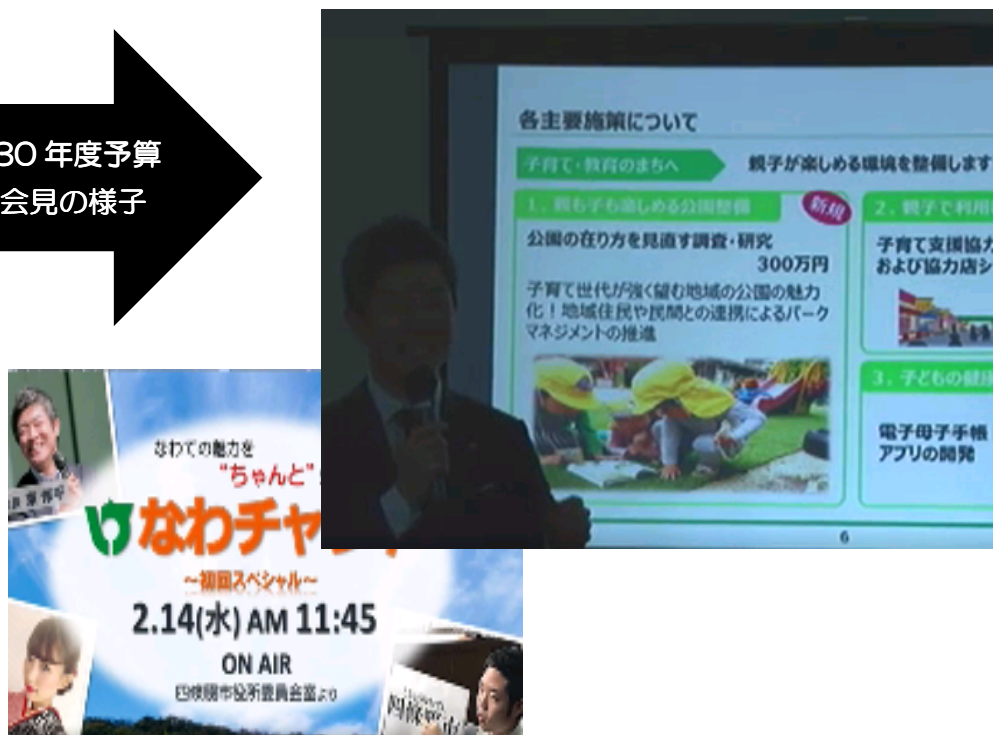
4 背景・目的

四條畷市の魅力的な部分を広く発信しきれていないことから、開設。
四條畷の魅力を、人にスポットを当てながら、観光、健康、産業、お店や行政サービス情報など、様々な角度から発信する。

5 取組の具体的内容

シティプロモーションに関する取組みを連携、協力しながら推進することを趣旨に、平成30年2月16日（金）、FC大阪（一般社団法人FC大阪スポーツクラブ）と包括連携協定を締結。平成30年2月14日から、市民が本市を再発見し市外に伝えたいようなコンセプトで「なわちゃん！」の生放送を開始。四條畷のチャンネル、なわでの魅力をちゃんと発信するという目標からネーミングした（FC大阪が放送に至る技術協力）。番組では、情報バラエティとして視聴者に楽しんでいただく工夫もしながら、平成30年度予算記者会見を生放送し、視聴者からの質問にも答える企画や、インターン生の企画による「くじ引き郷土史カルタ巡り」等のVTRを製作、視聴者参加型の地元に着目した情報を定期的に放送している。

平成30年度予算
記者会見の様子



6 特徴（独自性・新規性・工夫した点）

- ・自治体からの発信だからといって、肩ひじ張らずに楽しんでいただくよう「情報バラエティ」として打ち出している。
- ・元テレビ局勤務のマーケティング監が監修し、その知見を番組作りに活かしている。
- ・生放送の利点を活かし、視聴者参加型の番組として、視聴者コメントにもリアルタイムで回答する点。

7 取組の効果・費用

- ・毎回の放送視聴回数で全国ランキング上位に並び、4/20時点で総視聴回数18万回を突破した。
- ・FC大阪（一般社団法人FC大阪スポーツクラブ）と包括連携協定を結び、番組の放送費用などは全て無料。
- ・地域に着目した市の魅力を発信できるとともに、地域の人や職員の顔が見え、四條畷市への愛着につながる。

8 取組を進めていく中での課題・問題点（苦勞した点）

放送頻度を月1回としているが、毎回視聴者を楽しませる企画や内容を作ることに苦心している。長期インターン生が主体となって番組制作に取り組んでおり、日々市内のことにアンテナを張っている。

9 今後の予定・構想

KPIとして、視聴回数の年度平均値を「5万」と定め、より多くの方に楽しんでいただけるよう毎回の番組作りを工夫しながら行っていく。

出演者をはじめ、番組作りにはひとりでも多くの市民を巻き込み、ユニークな市民協働のひとつとしていきたい。本市在住在学の学生や本市に勤務する方なども対象としていく。

10 他団体へのアドバイス

スマートフォンでも当たり前に見られる時代、自治体のコンテンツ制作力の向上も期待され、さらには出演した職員の意欲向上にも一役買っている。

11 取組について記載したホームページ

<https://freshlive.tv/shijonawate-city/>